

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

VOL.

10

2024.4.1

Rotary International District 2690 [2023-24]

2023-24年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2023-24年度地区ガバナー
石倉 貞昭



葛飾北斎(富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二) 島根県立美術館蔵

Contents

地区ガバナーごあいさつ「環境月間雑感(私のギモン)」	2
地区世界社会奉仕(DWCS)プロジェクトについて	3
第10・第11グループIM開催報告	4
岡山北ロータリークラブ創立55周年記念式典・祝賀会報告	5
岡山東ロータリークラブ創立55周年記念式典・祝宴報告	6
「米山奨学生との交流事業」について	7
米山記念奨学生から学友会を経て	
2023-24年度ロータリー財団地区補助金奨学生 報告(第1回)	8
第4回 諮問委員会・国際ロータリー第2690地区年間行事予定	10
「世界ポリオデー」取組状況	11
地区だより	
会員数報告	12

Rotary
第2690地区



世界に希望を生み出そう

環境月間雑感（私のギモン）

地区ガバナー

石倉 貞昭 Ishikura Sadaaki



○2つの環境月間

2021年にロータリーの重点項目「環境」が追加され、2022年10月の理事会において、7つの重点項目のすべての月間が決定された。結果、4月が「環境月間」となり、それまでの4月の「母子の健康月間」は7月に移動となった。

日本では、環境庁の主唱により、平成3年度から6月の1ヶ月間を「環境月間」とし、全国でさまざまな行事が行われている。そして、6月5日は「環境の日」である。これは、1972年6月5日にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、定められたものだ。

国連では、日本の提案を受けて、6月5日を「世界環境デー」と定めている。

国連とも関係が深いロータリーが、6月ではなく4月を「環境月間」とした理由は何でしょうか。

行政や他の団体と協調して、環境に関する奉仕活動を行なうには、6月の方が適しているように思われるのだが…。

○木炭自動車

私たちが子どものころは、バスもタクシーも木ガスを燃料として走っていた。所謂木炭自動車である。ガソリンなどの化石燃料の不足による、代替燃料として使われていたのだ。

木材は、その生育過程で、CO₂を吸収して酸素に変えている。所謂炭酸同化作用である。なので、木材を燃焼させてCO₂を排出しても、プラスマイナスゼロとして扱われる。

よって、化石燃料より環境への負荷が低い木炭自動車がエコであると思うのだが、木炭自動車を走らせようとする機運がないのは、大きなギモンである。

○花粉症

毎年春先になると話題（問題）になる事のひとつ

に、「花粉症」がある。花粉症とは、花粉が体内に侵入することで、アレルギー反応が生じる病気の総称である。原因となる植物には、スギやヒノキ、イネ、カモガヤ、ブタクサやヨモギ、シラカバなどさまざまな種類がある。なかでも一番の悪者とされているのは、スギである。しかし、スギはそんなに悪い樹木だろうか。私は、そんな悪者扱いられているスギの良い点をアピールしたいと思う。

日本のスギは太古の時代から、北海道を除く日本の全地域で生息し、その生長の早さと、加工のし易さから我々日本人の生活や文化に多大な貢献を果たしている。

スギの加工品（板）として、初めて使われたのは、昭和18年夏に発見された、静岡市の登呂遺跡（弥生時代の水田稲作跡の遺構）の畦道に、矢板として使用されていたスギ板である。

生産範囲が広く、生育も早く、加工し易いスギ。建築用材としても広く利用されてきた。

特筆すべきは、竹との組み合わせで生まれた、桶、樽の存在である。

美味しい日本酒が飲めるのも、味噌や醤油を使った、美味しい日本料理を口にすることができるのも、スギと竹のおかげである。

18世紀の江戸の街は、同時代のヨーロッパの街より格段に清潔であった。つまり、生活環境が良好だったのだ。それもこれも、スギと竹の存在のおかげである。

スギは、花粉症の原因となる厄介者ではなく、日本人として、感謝すべき樹木のひとつであると考えられるが如何。

なお、植物の生育年代の測定によく使われているのは、化石や土壌中に埋もれていた花粉である。

参考文献 遠山富太郎著「杉のきた道」

地区世界社会奉仕 (DWCS) プロジェクトについて

DWCS委員長

古瀬 俱之 Furuse Tomoyuki



国際ロータリー第2690地区、地区世界社会奉仕 (DWCS) 委員会についてご説明をさせていただき、会員の皆様さらなるご理解を賜りたいと思います。

DWCSはDistrict World Community Serviceの頭文字です。2011年度から当地区で「海外の発展途上国において、人道的奉仕活動をしましょう」という趣旨ではじめられました。このため、地区の全会員の皆様から、年900円を徴収させていただいています。ロータリー財団とは関係なく、2690地区独自の委員会です。これを原資に、クラブから申請された奉仕プロジェクト（以下プロジェクト）に対し助成金で補助させていただいています。そのための「約束ごと10項目」を以下に記します。

- ① プロジェクトは、人道的奉仕活動です。
- ② 自国と援助国および地域のロータリアンもしくはロータリー学友メンバーが関与していることが必須です。
- ③ プロジェクトは、援助国の1カ国で実施してください。
- ④ 助成金の申請は、当該年度において、1クラブ1プロジェクトとします。
- ⑤ 助成金の上限は、1プロジェクトにつき100万円とします。
- ⑥ クラブの自己資金は、助成金の50%とします。但し、2011年度以降初めて申請するクラブの自己資金は、助成金の30%とし、2回目以降に申請するクラブは、助成金の50%とします。

- ⑦ 同一の受益者に対する継続的支援とならない事が望ましいですが、同一の受益者への支援の場合はDWCS委員会にて慎重審議し、決定します。
- ⑧ 助成金の金額については、DWCS委員会にて決定します。
- ⑨ ロータリー財団の補助金（国際財団活動資金あるいは地区補助金）を利用しないでください。
- ⑩ プロジェクト完了後にDWCS委員会へ報告をお願いします。

以上です。

DWCSの助成金を利用して奉仕活動をしたいが、約束ごとの第2項がクリアできないと思っておられるクラブは下記へご相談ください。

2690地区には、海外での社会奉仕活動の機会が用意されています。

多くのクラブからの申請をお待ちしています。

プロジェクトの申請期間は2024年7月1日から2024年8月30日までです。前年よりメ切りが1ヶ月早くなっています。お間違えのないようにご注意ください。

申請方法、ご相談は、下記へお問い合わせください。

国際ロータリー第2690地区世界社会奉仕委員会
E-mail:sakakibara@ri2690.jp

第10・第11グループIM開催報告

第11グループIM実行委員長

藤野 優

Fujino Masaru

(岡山岡南RC)



国際ロータリー第2690地区 第10・第11グループ「インターシティー・ミーティング」を令和6年1月28日(日)に岡山プラザホテルを会場に、地区内対象の両グループ11クラブから535名の登録の基、当日の参加者総勢300名の規模で盛大に開催いたしました。

国際ロータリー理事・佐藤芳郎様のご臨席を賜り、地区ガバナー・石倉貞昭様の構想に基づき、第10G・木口浩一ガバナー補佐、第11G・猪木健二ガバナー補佐の指揮にて「地域を見つめロータリーの未来を考える」をメインテーマと決め第1部【特別講演】では『地域経済の現状と課題—地方創生の鍵—』と題し、様々なロータリー活動に於いて「地域社会」との密接な関係に目を向けていく「重要性」について学ぶ機会と考え、岡山大学大学院特任教授の中村良平先生を講師としてお招きし、地域経済の現状と課題について、具体的な事例紹介を交えな

がらユーモア溢れるお話や、今後我々ロータリアンとして地域との関りが如何にあるべきかなどを楽しく学び、予定時間が短く感じられるほどの充実したご講演となりました。講演最後にロータリアンからの質問に対しても、丁寧な説明やアドバイスを頂くなど、大変に充実した内容となりました。時間の関係で受けきれないご質問は、後の「懇親会」にて直接交わしていただく等、予想外の展開も見られました。

IM開催ホストクラブとして岡山旭川RC・岡山岡南RCで実行委員会を立ち上げ、開催日確定と会場確保を皮切りに1年間の長い道程を経て、様々な準備や企画構想に取り組み、参加者の皆様方に情報提供の場として、又今後に向けたロータリー活動の学びの場として共に成長し、懇親会を深めるインターシティー・ミーティングが実現できた手ごたえを感じた様に思います。

第2部【活動報告】では「ロータリーとローターアクトの未来」をテーマとして旭川RCを提唱クラブとする岡山大学・ローターアクトクラブの活動報告を行いました。



第10グループIM実行委員長

中田 亨

Nakata Toru

(岡山旭川RC)



いよいよ第二部のはじまりです。ここではRACの誕生から今日に至まで苦勞されたRACアドバイザーの難波会員のコメントをご紹介します。

第二部では、「ロータリーとローターアクト (RAC) の未来」のテーマで、2022年9月岡山旭川ロータリークラブが提唱クラブとなり設立した、岡山大学RACの学生メンバー自身によって、設立以来実施した様々な活動内容、そして今後の展望につき報告して頂きました。彼らが行ってきた活動は、SDGsを絡めた収益事業の開催、企業訪問や海外大学RACとの姉妹提携、岡山市北区アンバサダー等々、本誌面では記載しきれない程のものでした。また、会員増強やイベントの集客手段としてSNSやマスコミを駆使し、これまでの「ボランティア」に対するマイナスイメージを払拭する「明るく楽しいボランティアサーク

ル」をまさに具現化されていました。IM終了後も反響は大きく、参加クラブから卓話の依頼や資金提供のお申し出、また自クラブでもRACの提唱を検討したいとお声を頂いております。RACとロータリーがお互いに刺激しあいながら発展成長していく未来がまさに感じられる報告会になったと自負しております。フェイスブックやインスタグラムで彼らの活動は随時アップされていますので、地区をあげて応援して頂けますと幸いです。

新たなロータリー活動や会員増強に1つの方向が見えた活動報告でございました。また懇親会では終始和やかな歓談と交流が行われ、中でも菊池バスターガバナーと福嶋次期ガバナー補佐のダンスパフォーマンスは会場が一気に盛り上がりお礼を申しあげたいと同時に是非次回に引き継ぎさせて頂こうと思っております。アツと言う間でしたが皆様方のご協力によって無事終了しましたことを感謝と共にご報告申し上げます。



岡山北ロータリークラブ創立55周年 記念式典・祝賀会報告

～よきことをせむ～

実行委員長

米 林

(岡山北RC)

眞 Yonebayashi Makoto



2024年2月4日(日) 私ども岡山北ロータリークラブの創立55周年を記念する式典並びに祝賀会がホテルグランヴィア岡山で開催されました。当日は佐藤芳郎RI理事、石倉貞昭ガバナーを始めとする多くの来賓方のご出席を賜り、賑々しくも華やかな会となりました。

周年式典は内向きの祝賀行事であるため、この良き日に何をどのように行うかについてはクラブの性格が如実に表れると思えます。会員がパートナーや同志と一堂に会し、創立以来積み重ねてきた年月を寿ぐことが本来の意義でありましょう。しかし我ら岡山北ロータリークラブにおいては組織内の慶事に留まらず、たとえ僭越、微力であろうと社会を1mmでも良い方向に進めるための記念日にしたいと思います。周年を社会に奉仕する機会とするために定めたテーマが「よきことをせむ」です。

求められる奉仕を

ほぼ1年に渡り何度も開催した実行委員会では記念奉仕事業が主な議題となりました。奉仕事業はときに自己満足に陥る畏ともなります。奉仕を受ける側が何を求めておられるのか、それを確かめながら次の4つの記念事業を実施しました。

1. 岡山城に車椅子、ハレノワにAED(自動体外式除細動器)を寄贈

岡山城へは04年、14年にもベンチを寄贈した経緯があり、長期に渡る信頼・協力関係が築かれています。管理する市と協議し、天守閣の大改修を終えた岡山城と新設なった岡山芸術創造劇場ハレノワそれぞれに必要なものを伺って寄贈するものとなりました。



2. 新天地育児院へのテーブル寄贈と石井十次記念館補修費の寄付

社会福祉法人新天地育児院は児童福祉の父といわれる石井十次ゆかりの施設で、家庭での養育が困難な子どもたちがここで生活しています。同院



の梅里卓志院長にご要望をお尋ねするとピクニックテーブルとベンチのカタログ写真を示されました。園の庭に設置した木製セットは絵本に登場しそうなほど小さくて驚いたのですが、幼児用なのだから頑丈なこの製品が良いというご意向でした。併せて敷地内に建つ石井十次記念館の補修費用の一部を寄付させていただきました。

3. カンボジアでの環境教育と分別ゴミ箱の寄贈

国際奉仕事業ではしばしば他国との事情の違いや実施後のフォローが問題となります。カンボジアで環境整



備活動を行っているNGOの日本人メンバーと協議を重ね、「環境教育」の重要性を寺院や小学校で説き、必要とされる分別ゴミ箱や活動支援金の寄贈を決定。岸本達也会長始め7名の会員がカンボジアに赴いて現地を視察し、地域行政の方の応援もいただいて贈呈式を行いました。今後とも同NGOとの協力体勢を維持して国際奉仕事業を継続していきます。

4. 認定NPO法人「ヒカリカナタ基金」へ寄付

式典では「ヒカリカナタ基金」の竹内昌彦理事長に記念講演していただき、活動支援金を寄付しました。同基金は岡山盲学校の教頭だった竹内理事長が発展途上国で展開している小児眼科医療プロジェクトで、これまでの活動により数百人の児童が失明から免れています。講演の中で理事長は自らが視力を失う悲劇的な体験を踏まえ「自分の幸福を追求してもその結果は空しい。他人への奉仕にこそ喜びがある」と訴えました。ロータリー活動の理念に直結するものと思えます。



なお、今回テーマは昨年「ロータリーの友」創刊70周年企画として実施された俳句コンテストにおいて特選(選者:夏井いつき氏)に選ばれた拙句「よきことをせむと集へば山笑ふ」から採ったものです。

岡山東ロータリークラブ創立55周年 記念式典・祝宴報告

～絆を深め、友と未来へ～

実行委員長

石井 英行 Ishii Hideyuki

(岡山東RC)



1969年、昭和44年2月8日、岡山ロータリークラブをスポンサーとして、創立時、会員33名でスタートした我が岡山東ロータリークラブは、めでたく創立55周年を迎えることとなりました。

創立55周年記念式典の開催にあたり、ご案内申し上げたところ、公私で多忙のなか、岡山市長 大森雅夫 様、国際ロータリー理事 佐藤芳郎 様、国際ロータリー第2690地区ガバナー 石倉貞昭 様、スポンサークラブの岡山ロータリークラブ会長 松岡徹 様をはじめ、多くのバストガバナー、並びに日頃よりご縁のあるロータリアンの皆様方、そして我々の活動を影から支えていただいております会員パートナーの方々、多数のご臨席を賜り、盛大に開催できましたことを誠に光栄に存じますとともに、有難く厚く御礼申し上げます。

我々の先人は、ひたすら奉仕の理想を求め、会員の増強を図り、只今の礎を築いてこられました。

1990-91年には岡本貞夫ガバナーを、2008-09年には鳥居滋ガバナーを輩出し、1972年初代中山会長を特別代表として、備前ロータリークラブ、1989年14代河和会長を特別代表として岡山丸の内ロータリークラブを創立いたしました。

歴代会長をはじめ、先輩諸兄のご努力に対し、敬意と感謝の誠をささげるものであります。

今回、創立55周年にあたり、テーマを「絆を深め、友と未来へ」をかかげました。創立50周年以降の5年間は、コロナ禍の為、通常例会、特別例会、旅行等、親睦を深める活動の中止が続き、岡山東ロータリークラブの根幹をなす「親睦なくして奉仕なし」の伝統が揺らいできたように感じました。

そこで、会員相互の絆を再度深化させたい思いから、創立

55周年実行委員会の活動を「式典並びに祝宴」プラス記念旅行の主催を追加し、創立55周年テーマに取り組んでまいりました。結果、長崎、五島列島記念旅行「大人の修学旅行」2泊3日の旅行にもかかわらず68名の出席を頂き盛大に開催できました。また、創立55周年記念式典ならびに祝宴には会員98名中96名の出席があり、欠席2名は出席免除者なので100%出席となりました。そしてパートナーも40名の出席をいただき、ロータリー家族の充実もできました。

2月11日(日)11時より岡山プラザホテル5F「延養の間」にて行われた式典では創立55周年記念事業である岡山城(烏城)へのAED寄贈と掛け軸の寄贈の発表と目録贈呈を行いました。

つづく本祝宴は4F「鶴鳴の間」に会場を移し、コース料理を味わいながら、岡山城へ掛け軸を展示している様子や創立55周年記念旅行の動画を楽しみ、歌手 栗木深香様、柗木和敬様による鍛えられたトークと歌のマリアージュを楽しませていただきました。

最後は「手に手つないで」の大合唱にて、とても和やかな本祝宴が閉宴いたしました。

長崎の記念旅行と創立55周年記念式典・祝宴を無事に終えられたのは、実行委員会をはじめ多くの会員の協力があったからこそです。これにより、創立55周年のテーマ「絆を深め、友と未来へ」の「絆を深め」は、完遂することができたと考えます。これからは55年の歴史をふまえ、我がクラブは友と未来に向かって、新たなステージに進んでまいります。皆様には55年間のお支えに感謝するとともに、今後もご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



「米山奨学生との交流事業」について

境港ロータリークラブ会長

赫 太郎 Terashi Taro

(境港RC)



当クラブは、2019年3月までの2年間、米山奨学生を受け入れておりました。現在も折々に近況報告が届く等、つながりを保っています。一方で、彼の卒業以降は米山奨学生と接する機会はなくなりましたので、この度の石倉ガバナーのご意向に賛同し、この事業を受けることといたしました。

今回は2月27日(火)の例会に鳥取西RCより米山奨学生・陳 鍼さんをお招きし、卓話をいただきました。

この1年間、世話クラブの皆様との活動を通じ、多くの経験をされたことがスライドからも良く分かりました。趣味も多様で地元の食も楽しんでおられ、これからはどんどん日本を好きになって頂けるのではないかと感



じました。鳥取での学生生活を3月で終え、4月からは横浜で新しい勉強に取り組まれるとのこと。地方の生活と都会の生活の違いもぜひ楽しんで頂きたいと思います。

今後も更に経験を積んで、日本と中国の懸け橋になられることを祈念致しております。本日は貴重なご報告をいただきありがとうございました。

陳さん 並びに 鳥取西RC会長 米花廉友様はじめ、ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

氏 名：陳 鍼 (ちん せい) さん

国 籍：中国

世話クラブ：鳥取西ロータリークラブ

在 籍：公立鳥取環境大学

演 題：「米山奨学生としての一年間：

挑戦、学び、そして成長の旅路」



米山記念奨学生から 学友会を経て

泰安康平 Taian Kohei
(岡山備南RC)



昨年10月に入会してから約半年が経ち、現在ロータリーのことを学びながら、ロータリーの基本である「親睦と奉仕」を念頭に、様々な行事を楽しんでいます。

振り返ると、私は米山記念奨学生からロータリークラブ入会まで、数多くのストーリーがありました。一言で言うと「ロータリーなくして私のいまの人生もなし」と言っても過言ではありません。私は米山記念奨学生になったのは、1993年から1995年までの大学院生の二年間でした。この二年間、多くのロータリアンの皆様と交流ができ、そして無事に大学院を修了することができました。ここまでの人生は、すべて順風満帆のように見えました。しかし、社会人になってから、社会はそんなに甘くはなかった。幾多の困難と危機に遭遇しました。こういう困った時に助けて頂いたのは、やはりロータリアンの皆様でした。そして、これらの経験を通じて、ロータリアンの皆様から、思いやりの心や奉仕する精神について、沢山学びました。そこで、私の心の中でロータリアンのような人になろう、いつかロータリアンになろうという思いが芽生えました。

昨年6月に岡山備南ロータリークラブの大先輩からかっ

てきた一本の電話を切っ掛けに、私は入会を決意しました。そして、8月につくばで行われた「再会in関東」という米山学友会の世界大会に参加した際に、改めて入会の気持ちを確認することができました。この場をお借りしてこれまでお世話になったロータリアンの皆様方に厚く御礼申し上げるとともに、これからもロータリーファミリーの一員として頑張っていく所存でございますので、まだまだ未熟な私でございますが、今後とも諸先輩方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



1988年10月 留学のため、中国から来日
1989年4月 岡山理科大学工学部情報システム学科入学
1993年3月 岡山理科大学工学部情報システム学科卒業
1993年4月 岡山理科大学電子工学研究科修士課程入学
1995年3月 岡山理科大学電子工学研究科修士課程修了
2002年5月 日本国籍取得(帰化)
2011年3月 ㈱ネット・アジア設立 代表取締役就任
2015年4月 日本・アジア経済交流協同組合設立 代表理事就任
現在に至る。

2023-24年度ロータリー財団 地区補助金奨学生 報告 (第1回)

ロータリー財団地区補助金奨学生

プラダン シュレヤス



1. 学業面での成果

現在、多くのモジュールにおいてまだ課題の提出期限に達しておらず、成績が未確定である状況です。

2. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

10月中旬には受入地区のホストクラブの副会長様及び財団委員長様と、同月下旬には都市計画を専門とされる他クラブのメンバーと初めてお会いしました。主に留学前に大学で勉強及び研究した内容、マンチェスター大学で学んでいる内容についてお話ししました。11月中旬に、受入地区の毎年恒例の宴会に参加し、出身地、留学先での学修内容、大学院修了後の予定等について演説する予定です。

3. 直面した課題、問題点等

前期に受講しているモジュールのうち、11月の課題がすべてグループ発表です。メンバーのほとんどが英語圏外の留学生であり、英語力、エッセー及び論文の執筆経験に差があるなか、発表の準備時に困難に直面することがあります。具体的な例として、他文献から引用する際に、書き換えが十分でなかったり、不適切な表現が見かけたりすることが複数回ありました。

また、12月と1月に提出する最終課題がすべてエッセーであり、与えられたテーマについて批判的に議論すること

が求められています。これまでの日本での研究活動を通じて、批判的思考力のある程度身につけた経験はありますが、短期間で構成がしっかりしたエッセーを作成し、単なる記述的な文章を回避することがハードルだと感じています。

4. 今後の課題、目標

今後は、毎週の講義に向けての予習や課題、ロータリーの活動、就職活動への時間のバランスを取るよう心掛けます。



2023-24年度ロータリー財団 地区補助金奨学生 報告 (第1回)

ロータリー財団地区補助金奨学生
中田 茉衣



2023年度9月から開始した修士留学の様子をご報告させていただきます。

私は、英国のSOAS University of LondonにてMSc Research for International Developmentというコースで国際開発学を専門に学習しています。国際開発学とは、貧困や紛争といった世界共通の答えのない国際的社会課題に対して多方向の学問を駆使した多角的アプローチを用いて解決を模索する学問です。

大学院のコースは1年間の極めて集中的な学習スケジュールが組まれており、私は一学期に4つの科目を受講します。今学期(第1学期)は、国際開発における質的/量的研究手法やジェンダー学、開発経済学など学びました。英国大学院の学習スタイルは私が卒業した日本の大学のものとは多く異なり、学期初めはイギリスでの生活だけでなく、学業に慣れるのに四苦八苦しました。大学院では、毎週200ページ程の学術文献を読み込み、講義を受け、クラスメートと関連するテーマや類似した関心について議論するという形式で学びを深めています。毎日世界各国から学びに来ているクラスメートの多様な価値観や思考に触れ、社会課題の実情をより解像度高く認識できるようになってきました。学業を遂行するにあたり極めて高度なアカデミックの能力を要求されますが、交流のあるクラスメートと切磋琢磨し、授業後に助け合いながら一日一日を必死に生きています。

大学院の学期期間は、体調管理の重要さと難しさを実感しました。日々体調管理を気にかけていたものの、大学の学業に慣れてきた11月頃に突然胃腸炎を発症してしまいました。現地の病院を受診したのですが、長期的に症状と闘いながら学業を継続することは想像以上に困難でした。過酷な大学院生活で毎日の学業に追われる中で、無意識のうちに疲労を溜めてしまうことがあるので、心身の健康に努め、時には学業から離れてイギリスでの生活を楽しまたいと思っています。

イギリスでは、ロータリークラブの皆様との交流も楽しみました。9月の学期開始直前期間に、私の受入ロータリークラブであるRotary Club of Battersea Parkの皆様にご招待いただきました。私たちはクルーズでテムズ川沿いの観光名所を眺めながら、Greenwichという観光地に赴きました。Greenwichは数多くの伝統的建造物が建ち並ぶユネスコに登録されている港町です。私が訪れた旧王立海軍大学内のペインテッドホールは天井壁画が圧巻で、また、イギリスの伝統的な料理をパブでいただきながらロータリアンの皆様とお話した時間も非常に楽しく思い出深いです。私を歓迎していただき、大変心温まる時を過ごしました。

第2学期が終了する頃に、留学報告をさせていただく予定ですので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



Greenwichの旧王立海軍大学内のペインテッドホールです。



Greenwichを通る経度0度のライン上に立って写真を撮りました。



Greenwichで昼食をいただいたパブからの写真です。トラファルガー海戦で勝利したネルソンの銅像が複数ありました。

2023-24年度 国際ロータリー第2690地区
第4回 諮問委員会

日時：2024年2月12日(月) 12:00~13:30
会場：ANAクラウンプラザホテル岡山/曲水
司会：地区副代表幹事 尾添 憲男

- | | | |
|---|---|---|
| <p>1. 開 会
2. 配布資料の確認
3. 出席者紹介
4. 地区ガバナー挨拶
5. 国際協議会報告
6. 第3回地区指名委員会
2024-25年度地区ガバナーノミネーの選出について
7. 報告事項
①地区資金・特別会計繰越金の取り崩しについて 【資料①】
②2024学年度ロータリー米山記念奨学生選考結果について 【資料②】</p> | <p>地区ガバナー 石倉 貞昭
地区ガバナー 石倉 貞昭
地区ガバナーエレクト 榊原 敬
地区直前ガバナー 友末 誠夫</p> | <p>③2024学年度ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション
・歓迎会について 【資料③】
④ポリオ プラス ソサエティ登録者目標人数について 【資料④】
⑤地区行事予定について 【資料⑤】
⑥その他
8. 地区ロータリー財団事務所より
9. 榊原敬ガバナーエレクト事務所より
10. 次回開催日の確認
2024年3月2日(土) 11:00~12:30 (受付10:30~)
会場：ANAクラウンプラザホテル岡山/曲水
11. 閉 会</p> |
|---|---|---|

国際ロータリー第2690地区年間行事予定 [2023-24年度] ☆榊原地区ガバナーエレクト主催

年 月	日	行 事	場 所	時 間	
2024	6 (土)	☆ ロータリークラブ事務局員研修会・懇親会	ANAクラウンプラザホテル岡山	12:00~20:00	
	7 (日)	☆ 地区研修・協議会	岡山コンベンションセンター	11:00~17:00	
	13 (土)	地区ロータリー財団奨学生選考会	オンライン	14:00~	
	13 (土)	倉吉中央ロータリークラブ創立30周年記念式典	倉吉シティホテル	13:30~17:20	
	14 (日)	2024学年度ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	松江テルサ	12:00~15:30	
	14 (日)	出雲ロータリークラブ創立70周年記念式典	ニューウェルシティー出雲		
	18 (木)~19 (金)	クラブ活性化セミナー2024	JPタワーホール & カンファレンス	10:00~	
	19 (金)	第4回ガバナー会議			
	20 (土)	第1・第2グループIM	米子市文化ホール 米子コンベンションセンター	13:00~15:40 16:10~17:30	
	21 (日)	第2回補助金小委員会	オンライン	10:00~	
	27 (土)	第2回地区インターアクト委員会	新見公立大学地域共生推進センター	11:00~12:00	
		インターアクト地区協議会		14:40~16:00	
	27 (土)	浜田ロータリークラブ創立65周年記念式典	浜田ニューキャッスルホテル		
	5	12 (日)	☆ 地区クラブ活性化ワークショップ	岡山コンベンションセンター	12:45~15:30
			☆ 第4回次期ガバナー補佐会		11:00~12:30
		11 (土)	第27回全国RYE研究会山形会議		
		11 (土)	ロータリーアクト地区年次大会	倉敷市芸文館	14:00~20:00 9:00~13:30
		12 (日)	美作ロータリークラブ創立60周年記念式典	ゆのこぎ美春閣	10:00~14:30
	19 (日)	国際大会	シンガポール		
	6	1 (土)	青少年指導者養成プログラム (RYLA)	松江	
		2 (日)	第6回諮問委員会	ホテル一畑	11:00~12:30
		8 (土)~9 (日)	第16回全国RYLA研究会福島会議		
		8 (土)	第6回地区青少年交換委員会・新旧引継会 青少年交換学生壮行会・送別会	ホテル一畑	11:00~15:00
		9 (日)	第4回ガバナー補佐会	ホテル一畑	11:00~12:30
		15 (土)~16 (日)	第11回全国インターアクト研究会・神戸会議	神戸駅前研修センター	12:00~
		15 (土)	第2690地区 新会員セミナー	ホテル一畑	15:00~17:00
		16 (日)	倉吉ロータリークラブ創立70周年記念式典	倉吉シティホテル	15:00~
22 (土)		2023-24年度・2024-25年度合同地区危機管理委員会	松江		
22 (土)		☆ 米山指定校選定委員会	岡山国際交流センター	12:30~15:00	
			ロータリーアクトリーダーシップフォーラム		

2023-24年度「世界ポリオデー」取組状況

	活動日	行事内容	参加RC	募金額(円)
5	10/16~11/6	益田市立図書館におけるパネル展	益田RC・益田西RC	—
16	11/19	ガイナレーJ2昇格応援試合会場における募金活動の実施	鳥取中央RC、鳥取北RC、鳥取西RC、智頭RC、鳥取中央RC	121,477
20	10/24	岡山駅東西通路にて「街頭募金活動」とポリオ根絶活動のチラシ配布 タテ型ビジョンにおいてポリオ根絶とロータリー活動のPR ポリオの実態を市民に発信するためにパネル展示 これらの活動内容がニュースで放映され、公共イメージ向上に繋がった	岡山南RC	186,100
21	9/3・10/1	松江松徳学院中学校高等学校の松徳祭・松江市民レガッタにて、 ENDPOLIO Tシャツ着用・幟・パネル展示・ポリオ根絶活動をPR	松江南RC	—

2024年 2月 地区だより

新会員紹介



齋藤 實 倉吉RC 角田 恵美 米子東RC 山根 樹来 米子東RC 和田 正志 出雲南RC 村上 正和 井原RC 村木 理英 総社RC 渡辺 昇 倉敷南RC 平野 彰一 岡山北RC

ロータリー財団への寄付

- 恒久基金 大口寄付
 - 末長 範彦(岡山RC)
- メジャードナー
 - レベル1 諸國眞太郎(岡山東RC)
- ベネファクター(恒久基金)
 - 松井 浩明(岡山後楽園RC)
- ポール・ハリス・ソサエティ入会
 - 坂口 元昭(米子南RC) 坂本 高司(米子南RC)
- ポール・ハリス・フェロー(ポリオプラスへの寄付)
 - 福岡 睦子①(岡山南RC)
- ポール・ハリス・フェロー(年次基金への寄付)
 - 小林 哲②(境港RC) 中村 文香②(大田RC)
 - 髙田 章信⑭(倉敷南RC) 安藤 究真③(岡山東RC)
 - 諸國眞太郎⑩(岡山東RC) 原 全伸③(岡山北西RC)

クラブポリオプラス

平田RC	109.10ドル	(第4グループ5RC共同ポリオ募金活動)
出雲RC	109.10ドル	(第4グループ5RC共同ポリオ募金活動)
出雲中央RC	109.10ドル	(第4グループ5RC共同ポリオ募金活動)
出雲南RC	109.10ドル	(第4グループ5RC共同ポリオ募金活動)
大社RC	109.10ドル	(第4グループ5RC共同ポリオ募金活動)
井原RC	382.98ドル	

クラブ年次基金

米子南RC	5200.00ドル
出雲南RC	11.00ドル(新会員寄付)
岡山北西RC	10.55ドル(新会員寄付)

米山奨学会への寄付

- 米山功労者
 - 岩崎 陽一②(鳥取西RC)
 - 伊藤 慎哉⑤(米子東RC)
 - 岩崎 浩②(米子東RC)
 - 松浪 昭二①(米子東RC)
 - 小林 重樹①(高梁RC)
 - 難波 一也①(高梁RC)
 - 廣瀬 憲三④(真庭RC)
 - 富坂 順也①(真庭RC)
 - 初川 正子①(津山中央RC)
 - 丸山 夏樹④(岡山後楽園RC)

クラブ普通寄付

鳥取中央RC	82,500円
鳥取北RC	117,500円
松江南RC	160,000円
総社吉備路RC	75,000円
児島RC	37,500円
岡山北西RC	117,500円
岡山後楽園RC	122,500円
岡山北RC	122,500円

クラブ特別寄付

出雲南RC	5,000円(新会員寄付)
出雲南RC	41,316円(米山BOX)
岡山北RC	32,000円(米山ランチ)

[VOL.10 表紙]

葛飾北斎

《富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二》

天保初期(1830~34)頃、
錦絵(多色摺木版画)、
島根県立美術館蔵(永田コレクション)

北斎を代表する風景版画シリーズ《富嶽三十六景》・全46図の内の1図。海に面した品川の「御殿山」は、「飛鳥山」「隅田川の堤」と並ぶ人気の花見スポットで、本図にも浮かれた花見客で賑わう様子が描かれています。人混みの中には、遊び疲れて眠る子どもをおんぶする夫婦の姿も。満開に咲き誇る桜が、晴れわたる空と海の青に美しく映え、いかにも春爛漫といった風情があります。



会員数報告 (2024年2月)

クラブ名	例会数	会員数				
		7月1日	2月末日	内女性会員	増減	
第1グループ	智頭	3	5	5	0	0
	倉吉	4	38	41	2	3
	倉吉中央	4	17	18	2	1
	倉吉東	4	46	47	5	1
	鳥取	3	58	59	3	1
	鳥取中央	2	27	33	1	6
	鳥取北	4	45	46	7	1
	鳥取西	3	55	54	3	▲1
	小計(8)	—	291	303	23	12
第2グループ	境港	4	43	45	1	2
	米子	3	68	70	5	2
	米子中央	3	41	40	2	▲1
	米子東	2	102	105	15	3
	米子南	2	68	70	5	2
	小計(5)	—	322	330	28	8
第3グループ	松江	2	60	65	1	5
	衛星クラブ	2	9	9	5	0
	松江東	3	49	48	4	▲1
	松江南	2	65	64	5	▲1
	松江しんじ湖	3	45	46	10	1
	隠岐西郷	4	26	26	2	0
小計(5)	—	254	258	27	4	
第4グループ	平田	3	37	38	1	1
	出雲	2	51	55	1	4
	出雲中央	3	47	47	3	0
	出雲南	3	84	84	7	0
	大社	3	48	50	5	2
	小計(5)	—	267	274	17	7
第5グループ	江津	4	40	42	3	2
	浜田	4	56	57	5	1
	益田	2	19	19	2	0
	益田西	3	31	31	2	0
	大田	3	24	25	3	1
小計(5)	—	170	174	15	4	
第6グループ	井原	4	37	38	1	1
	笠岡	4	49	48	3	▲1
	笠岡東	3	39	40	1	1
	新見	3	24	24	3	0
	総社	4	14	16	2	2
	総社吉備路	3	29	30	1	1
	高梁	3	34	36	1	2
	玉島	4	27	27	5	0
小計(8)	—	253	259	17	6	

クラブ名	例会数	会員数				
		7月1日	2月末日	内女性会員	増減	
第7グループ	児島	2	15	16	0	1
	児島東	3	10	11	0	1
	倉敷	4	74	72	1	▲2
	倉敷中央	2	16	18	7	2
	倉敷東	3	29	27	4	▲2
	倉敷南	2	57	61	3	4
	倉敷水島	3	17	16	0	▲1
	倉敷瀬戸内	2	34	32	1	▲2
	小計(8)	—	252	253	16	1
第8グループ	真庭	4	29	30	1	1
	美作	3	26	27	2	1
	津山	3	95	96	5	1
	津山中央	3	11	11	3	0
	津山西	3	32	33	4	1
小計(5)	—	193	197	15	4	
第9グループ	備前	3	41	44	7	3
	岡山	4	113	118	6	5
	岡山東	4	96	98	2	2
	岡山北西	3	47	48	3	1
	岡山後楽園	4	48	48	1	0
小計(5)	—	345	356	19	11	
第10グループ	岡山旭川	4	36	37	2	1
	岡山中央	3	24	25	5	1
	岡山北	2	49	50	4	1
	岡山南	4	152	157	20	5
	玉野	3	25	25	0	0
小計(5)	—	286	294	31	8	
第11グループ	岡山備南	4	20	21	1	1
	岡山城	4	20	21	1	1
	岡山岡南	2	25	25	2	0
	岡山丸の内	4	50	51	4	1
	岡山西	3	66	69	13	3
	岡山西南	3	48	51	7	3
小計(6)	—	229	238	28	9	

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2023年7月1日会員数	2,862名
2024年2月末日会員数	2,936名
内女性会員数	236名
純増	74名

